



# 集中豪雨から身を守りましょう

知っておこう!

参照

磐田市天竜川浸水想定区域マップ  
磐田市太田川浸水想定区域マップ

大雨による災害の恐れがある場合、気象庁はさまざまな防災気象情報を発表します。防災気象情報が出されるタイミングやその意味するところを理解し、いざというときの避難に役立てましょう。



## 大雨などに関する情報と対応

警戒レベル	警報・注意報等	住民がとるべき行動
レベル1	早期注意情報 (警報級の可能性)	●最新の防災気象情報等に留意し、災害への心構えを高めましょう。
レベル2	大雨注意報 洪水注意報	●ハザードマップ等で災害が予想される地域や避難先、避難経路を確認しましょう。
レベル3	大雨警報 洪水警報	●市が「避難準備・高齢者等避難開始」を発令する目安となる情報です。 ●避難に時間がかかる高齢者などの要配慮者とその支援者は、避難を開始しましょう。 ●その他の人は、避難の準備を整えましょう。
レベル4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	●市が「避難勧告」や「避難指示(緊急)」を発令する目安となる情報です。 ●速やかに安全な場所へ避難しましょう。 ●屋外での移動が危険と判断する場合は、建物内のより安全な部屋等に移動しましょう。
レベル5	大雨特別警報 *1 氾濫発生情報	●既に災害が発生している状況です。 ●命を守るための最善の行動をとりましょう。



風水害編

\*1 「大雨特別警報」は、台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。

\*2 上表の警報・注意報等のほか、大雨警報発表中に土砂災害や浸水、中小河川の洪水につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを知らせる「記録的短時間大雨情報」があります。



市はこうした情報や、河川水位、過去の災害における被害状況を総合的に判断して避難に関する情報を発令します。

参照 情報No.2

- 避難準備・高齢者等避難開始
  - 避難の準備をする。
  - 避難に時間がかかる方は避難場所に避難する。

- 避難勧告
  - 避難場所にすぐに避難する。

- 避難指示(緊急)
  - 直ちに命を守る行動を取る。(指定緊急避難場所へ避難するか外出することが危険な場合は家の中の安全な場所にとどまる)

### ● 早い段階から気を付けること

- 防災気象情報に気を付ける。
- いわたホットライン、テレビ、ラジオなどから最新の情報を入手する。
- 窓や雨戸など、家の外観点検をする。
- 避難場所を確認する。
- 非常持出品を準備する。
- 河川等、危険な場所に近づかない。

